

《人権を尊重した主な取組や成果》

日本軽金属グループは、経営方針で「人権を尊重し、倫理を重んじて、誠実で公正な事業を行う」ことを定め、「人権の保護・尊重」を重要課題の一つとしています。

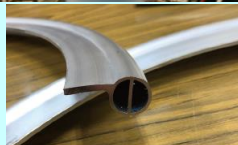
また弊グループの事業活動が人権への負の影響を引き起こす、もしくは助長する可能性があること、そして事業・商品・サービスに関連する方々の人権に負の影響を生じさせる可能性があることを認識し、事業活動に関わるすべての人々の人権を保護・尊重するために「日本軽金属グループ人権方針」を定め、様々な取組を推進しています。

特に力を入れている取組

パラスポーツへの理解と支援

障がいの
ある人

- 一般社団法人日本車いすラグビー連盟とのオフィシャルパートナー契約締結を契機に、若手社員を中心とした社会貢献プロジェクトを立ち上げ、車いすラグビー体験や障がい者スポーツの歴史等の学習を実施。
- 苫小牧市内の「日軽アリーナ」をパラスポーツ団体や選手に安全・快適に使っていただくために、自動ドア化や競技エリアに衝突防止保護マットを設置する等のバリアフリー改修を実施。
- 競技用車いす向けの高強度で壊れにくいアルミニウム製部品の開発・提供。



社会とともに歩む次の20年

- 社会貢献活動が一時的なもので終わることのないよう、地域に根ざして広く貢献できるプログラムを導入して推進。
※2019年度は、353の地域活動プログラムに参画
- 弊社が100周年を迎える2039年までの間、「子供の未来応援基金」と「社会福祉振興助成事業」への寄付を毎年継続して実施。



子ども

障がいの
ある人

紛争鉱物問題への対応

女性

子ども

- コンゴ民主共和国やその周辺諸国で採掘されるスズ・タンタル・タングステン・金の4鉱物(3TG)及びそれらを使用した製品の使用を禁止。
- 調達材料、製品に含まれる3TGの原産国の確認及び情報の開示。

関連した取組

■人権に関する他の制度などの認定状況

- ・えるぼし認定2段階目(厚生労働省, 2021年)
- ・くるみん認定(厚生労働省, 2021年)



■SDGsの取組と目指すゴール

- ・持続可能な価値提供 
- ・地球環境保護 
- ・従業員の幸せ 
- ・責任ある調達、生産、供給 
- ・企業倫理、企業統治 

会社概要

弊グループは、創業以来アルミニウムの原料から加工製品に至るまで、幅広い製品を扱ってきたアルミニウム総合メーカーです。アルミニウムは軽量で丈夫な上、加工性や耐食性、熱伝導性、電気伝導性、リサイクル性など多くの優れた特性を持ち、社会で広く使われてきた素材です。

私たちはアルミニウムに対する豊富な知見と技術をベースに、素材メーカーの概念を超え、これまでとは違う次元で取組ができる企業となることを目指し、「お客様の喜びとは何か」を自らに厳しく問い続けることで時代の変化に対応した無限の新しい可能性を追い、持続的な成長に向けて邁進してまいります。

企業情報

製造所開設年	1968年(昭和43年)
資本金	30,000百万円(全国)
代表者	苫小牧製造所長 綿引 義昌
従業員数	68名(苫小牧製造所)
本社所在地	苫小牧市

【企業ホームページURL】 <https://www.nikkeikin.co.jp/>